

民生福祉

廃棄物処理施設について

質問

PFI法を活用し、民間事業者による廃棄物処理施設を誘致してはどうかその考えを伺いたい。

答弁 厳しい財政事情等を勘案すると民間資金等の活用による公共施設等の整備も一つの方法であると認識している。廃棄物処理施設の分野にどのような形でPFI法が活用できるか、事業主体である十和田地域広域事務組合で検討することになるが、構成員である市としても先進事例等の情報収集に努めながら組合に対し、提案していきたい。

ごみ最終処分場について

質問 最終処分場を新設する考えはないか伺いたい。

答弁 十和田地域広域事務組合は、今年度中に一般廃棄物の処理に関する基本的な事項を定めるごみ処理基本計画を策定する予定であり、この中には最終処分場の整備に関する事項についても検討することになっている。



バイオディーゼル燃料化について

質問 食用油の再生によるバイオディーゼル燃料化の現状と将来の計画について伺いたい。

答弁 食用油の多量排出者である十和田・六戸学校給食センターでは年間約四千リットルの廃食用油が排出されており、これをリサイクル業者に有価で売却し、現在は飼料やバイオディーゼル燃料に利用されていると聞いている。

将来の計画については、食用油は添加物を加えることによって軽油代替燃料となるため、地球温暖化の防止や資源の有効活用になることから、ごみ減量化を進める上でも廃食用油のリサイクルが必要であると認識しているが、廃食用油の回収方法や必要量の確保などの問題があるため、他市の状況等を見ながら取り組んでいきたい。

産婦人科医師について

質問 産婦人科医師確保の見通しはあるか伺いたい。

答弁 いろいろな機会をとりあえて各方面に医師派遣のお願いをしているが、全国的な産婦人科医師不足という情勢下にあつて、現在のところ見通しはたっていない。今後、関連大学はもちろんのこと、機会をつくり多くの大学に医師派遣をお願いし、地域住民の不安を一刻も早く解決できるように努めていきたい。

観光経済

商店街活性化策について

質問 消費者やお客がゆつたりとした気分で店内を見て回れるような感覚にするため、各商店の横壁に穴をあけて商店街を連結する方法でこれまでとは違う商店街を形成し、まちの活性化を図る考えはないか伺いたい。

答弁 商店街の活性化のためには、いろいろなアイデアが試され、いろいろな取り組みが行わなければならないと考える。その基本は商業者の意欲に基づく自主性と創造性にあるものと考えられる。商店相互の横壁貫通も、活性化の一つの取り組みとして商工会議所や商店街振興組合等へ伝え、事業者のニーズを把握していきたい。

品目横断的経営安定対策について

質問 今後の品目横断的経営安定対策事業の取り組みについて伺いたい。

答弁 本対策の支援対象となる担い手の割合は約二割と低い状態であり、今後十九年春までの農閑期を利用し、再度集落説明会を開催し、集落営農組織や認定農業者の育成を図るほか、担い手への土地利用集積を進め、本対策の対象となるよう努めていきたい。

市民の家の宿泊について

質問 市民の安らぎと楽しみ、交流の場である市民の家の宿泊について、なぜ廃止となるのか伺いたい。

答弁 平成十八年三月に策定した十和田市行政改革大綱に基づき、十和田市集中改革プランに照らし合わせ検討した結果、十和田湖温泉郷には多くの民間の宿泊類似施設があることから、市民の家の宿泊業務については廃止するものである。



バイオマス作物について

質問 バイオマス作物の振興を推進する考えはないか伺いたい。

答弁 食料生産としての農産物栽培だけではなく、バイオマス資源などの新たな観点での検討が必要と思われるが、新しい取り組みでもあり、技術面、採算性などから、これから研究していかねばならない分野であり、全国の動向を見きわめながら情報収集に積極的に努めていきたい。

高森山総合運動公園について

質問 高森山総合運動公園について、整備予定のサッカー競技場、多目的広場整備計画は、予定どおり進捗するのか。

答弁 サッカー競技場が開催できる芝グラウンドの多目的広場は、平成二十一年度の供用に向け、昨年度から工着手し、計画どおりに整備が進んでいる。サッカー場及び関連施設については、平成十九年度に工事着手の予定であり、現在、実施計画の作業中である。なお、工事は平成二十四年度の供用に向け進めていく考えである。

道路整備について

質問 朝の時間帯等、混雑している下平・東小稲線の今後の整備計画を伺いたい。

答弁 現在は大学通り以南を整備中であり、北部区間については、大学通り線から北に向かい、稲生川、鉄道、県道を高架で越える計画となっており、今後早急の整備が必要と考えている。

建設